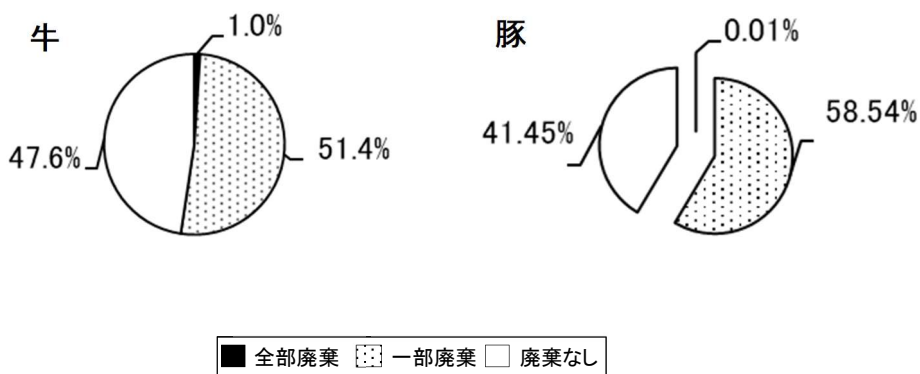


☆と畜検査状況

◎と畜検査頭数および廃棄の原因 (令和6年4月～令和6年6月)

畜種	牛		とく		豚		山羊		
	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	
と畜検査頭数	1,145		1		16,354		3		
実頭数	13	588	1	0	2	9,574	0	0	
廃棄の原因	放線菌症	0	2	0	0	0	0	0	0
	ミコバクテリウム症	0	0	0	0	0	244	0	0
	ジストマ	0	1	0	0	0	0	0	0
	寄生虫症	0	0	0	0	0	0	0	0
	膿毒症	0	0	0	0	2	0	0	0
	敗血症	3	0	0	0	0	0	0	0
	尿毒症	0	0	1	0	0	0	0	0
	黄疸	0	0	0	0	0	0	0	0
	水腫	4	78	0	0	0	43	0	0
	腫瘍	0	2	0	0	0	0	0	0
	炎症汚染	0	373	0	0	0	7,268	0	0
	変性萎縮	0	251	0	0	0	3,028	0	0
	牛伝染性リンパ腫	6	0	0	0	0	0	0	0
	豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	64	0	0	0	774	0	0	
計	13	771	1	0	2	11,357	0	0	

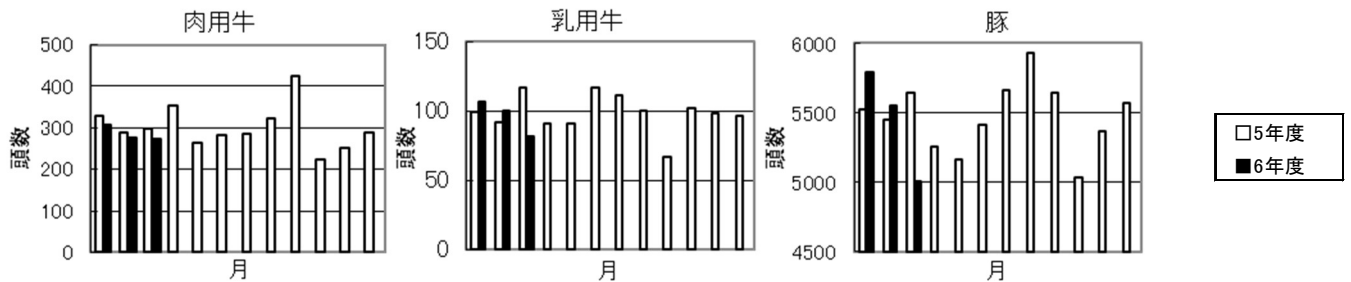
一部廃棄は原因が複数にわたる場合があり、廃棄の原因の合計が実頭数を上回ることがある。



◎と畜検査頭数の推移（令和6年度）（とくを除く）

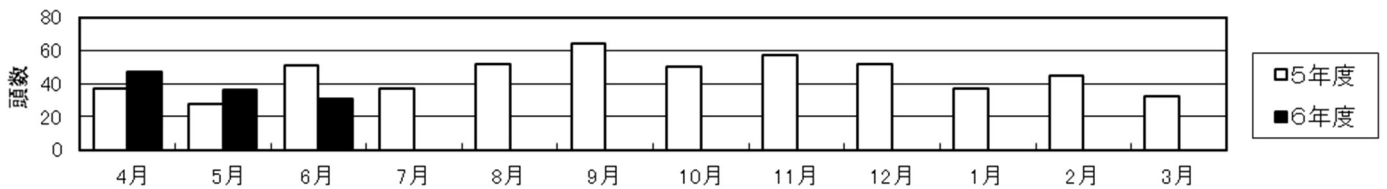
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度肉用牛	330	288	298	354	265	281	286	324	424	225	253	287	3,615
6年度肉用牛	307	276	273										856
前年比(%)	93.0	95.8	91.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.7
5年度乳用牛	99	92	117	91	91	117	111	100	67	102	98	96	1,181
6年度乳用牛	107	100	82										289
前年比(%)	108.1	108.7	70.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.5
5年度豚	5521	5448	5646	5252	5167	5414	5663	5927	5647	5032	5365	5570	65,652
6年度豚	5794	5551	5009										16,354
前年比(%)	104.9	101.9	88.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.9

肉用牛は黒毛和種、交雑種等、乳用牛はホルスタイン種、ジャージー種等である。



◎病獣畜と畜検査頭数（令和6年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	37	28	51	37	52	64	50	57	52	37	45	32	650
6年度	47	36	31										114
前年比(%)	127.0	128.6	60.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.5



4月～6月の病獣畜114頭の内訳は、牛およびとくが87頭、豚が24頭、山羊が3頭であった。

◎時間帯別病獣畜と畜検査頭数（令和6年4月～令和6年6月）

受付時間	頭数	うち緊急性		頭数割合(%)
		なし	あり	
7:00～12:00	113	112	1	99.1
時間外(上記以外)	1	1	0	0.9
長期休場等	0	0	0	0.0
合計	114	113	1	

※令和5年7月から病畜の受付時間は平日の7時から12時となった。

※令和5年7月から土曜日の病畜は基本的に受け付けない事となった。

◎地域別病獣畜と畜検査頭数（令和6年4月～令和6年6月）

地域	岡山	東備	倉敷	井笠	高梁	阿新	真庭	津山	勝英	県外	場内	計
頭数	16	3	0	47	11	2	1	3	0	0	31	114
(うち時間外)	0	0	0	(1)	0	0	0	0	0	0	0	(1)
頭数割合(%)	14.0	2.6	0.0	41.2	9.6	1.8	0.9	2.6	0.0	0.0	27.2	

☆検査室等における精密検査（令和6年4月～令和6年6月）

畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数	畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数	
			肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学	遺伝子						病理組織	肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学			遺伝子
牛及びとく	3	敗血症			22				3	0	豚	0	敗血症							0	0	
	0	膿毒症							0	0		2	膿毒症	2						2	0	
	1	尿毒症					1		1	0		0	尿毒症							0	0	
	1	高度の黄疸					1		0	1		0	高度の黄疸							0	0	
	4	高度の水腫	4						4	0		0	高度の水腫							0	0	
	6	牛伝染性リンパ腫					6	53	6	0		0	豚丹毒							0	0	
	0	腫瘍の多発							0	0		0	白血病							0	0	
	15	計		4	0	22	0	8	0	53		14	1	2	計	2	0	0	0	0	0	0

解体検査で判定困難な疾病について、精密検査を実施し、食用の適否を判定している。

◎残留有害物質検査（令和6年4月～令和6年6月）

・保留畜・病畜スクリーニング

畜種	区分	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数	陽性検体数					陰性検体数
						筋肉	腎臓	注射痕	乳房	その他	
牛・とく	保留	3	6	2	1	0	1	0	0	0	5
	病畜	87	174	87	0	0	0	0	0	0	174
豚	保留	3	6	3	0	0	0	0	0	0	6
	病畜	24	48	24	0	0	0	0	0	0	48
山羊	保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病畜	3	6	3	0	0	0	0	0	0	6

病牛の腎臓1検体において直接法陽性であった。

・一般畜モニタリング

畜種	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数
牛	6	12	6	0
豚	27	54	27	0
鶏	0	0	0	0

◎BSE（牛海綿状脳症）スクリーニング検査

令和6年4月～令和6年6月におけるBSEスクリーニング検査数は0件であった。

（平成29年4月1日以降、月齢24か月以上で、原因不明の神経症状及び起立不能を呈する牛を対象に実施）

発行：岡山市食肉衛生検査所  
 TEL：086-272-8399 FAX：086-273-2019  
 E-mail：shokunikueiseikensasho@city.okayama.lg.jp  
 郵送停止、メール配信希望等、ご要望ございましたら、お気軽に担当までご連絡ください。  
 1～3ページについて、ホームページでも公開しています。  
<https://www.city.okayama.jp/0000022033.html>